

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和3年6月11日(金)13時30分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條技術研究調査官、有吉上席安全審査官

小舞管理官補佐、上野管理官補佐、加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他9名

5. 要旨

○原子力機構から、もんじゅの廃止措置第2段階に向けた検討状況について、配付資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・本日説明のあった汚染の分布に関する評価の内容に限ったことではないが、検討状況の説明に当たっては、もんじゅの廃止措置の全体工程の中での位置づけや第2段階における達成目標を明確にして説明すること。
- ・放射化汚染分布の評価手法について、既往の評価において用いた手法との差異を説明すること。
- ・生体遮蔽壁のコアサンプリングの代替案として実施する生体しゃへい壁外面の直接測定について、代替案としての成立性を詳細に説明すること。

○原子力機構から、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：汚染の分布に関する評価（全体）